

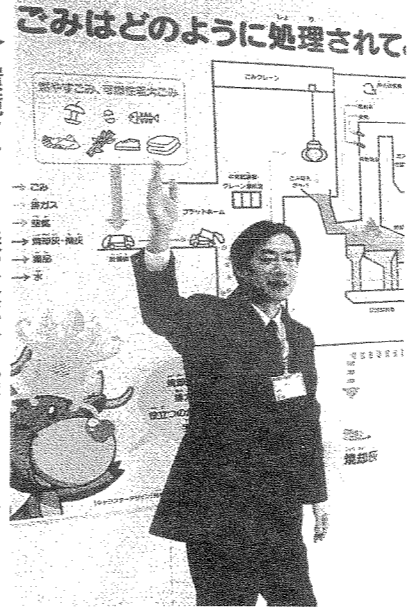
山鹿ごみ焼却施設を視察

総務環境
委員会

排ガス基準の決め方などを質問

日田市議会・総務環境委員会は1月30日、熊本県山鹿市環境センターを視察。ごみ焼却施設の候補地決定、施設の特徴、排ガス基準の決め方などの説明を受けました。

山鹿市環境センターの森室長は、ごみ焼却施設の特徴などを説明しました。山鹿市の燃やすごみは、以前は山鹿植木クリーンセンターで共同



環境センター・森室長が、見学コースのパネルを示し説明。(山鹿市、1月30日)

ごみ焼却施設の比較

	山鹿市	日田市 (計画)
工事期間	2016~2018年	2022~2024年
施設規模	46ト/日	54~60ト/日
整備費用	42億円	75億円

処理されていました。しかし、施設の使用期限19年3月31日が迫り、環境センターの建設を急ピッチで進めたとのこと。建設候補地は、公募2カ所、市所有地4カ所から最終的に選定。総合評価の結果、山鹿市スポーツセンター(浄化処理施設の横)の跡地に約42億円で建設されました。

日隈市議は、ヨーロッパでは水銀などの重金属の排ガス基準を決めていることを示し、自主基準をどのように決められたか質問しました。森室長は、日本環境衛生センターやコンサルから「(自主基準を)きびしくしても意味はない。きびしくすれば機械類に金がかかるので止めた方がいい」とアドバイスされたと話しました。「対外的にはきびしい方が、見た目がいい。どこに決めるか悩ましい」と本音をもらしました。

新成人にシールアンケート

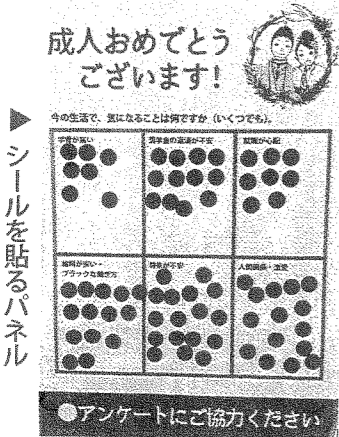
日本共産党
西部地区委

給料安い、将来が不安

日本共産党西部地区委員会(委員長・日隈知重)は1月12日、成人式に参加した新成人にシールアンケートを行いました。「給料が安い」「将来が不安」などと答えました。

日田市主催の成人式が1月12日、パトリア日田で開催されました。共産党西部地区委員会は、会場に来た新成人に「今の生活で気になること」にシールを貼ってもらいました。約150名の新成人がアンケートに協力。シールはいくつでも貼れます。

新成人から、「給料が安い、ブラックな働き方」「将来が不安」といった切実な思いが伝わるアンケート結果でした(左の表)。党は、新成人にジェンダー平等のリーフを渡し、すべての個人が尊厳を持つて生きることのできる日本をつくることを呼びかけました。



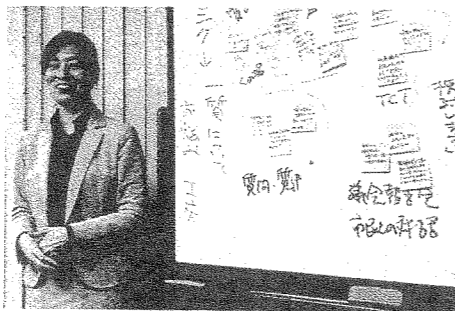
今の生活で気になること

給料が安い ブラックな働き方	66人
将来が不安	61人
人間関係、恋愛	55人
就職が心配	53人
奨学金の返済が不安	35人
学費が高い	25人

基礎から学ぶ質問力 日隈市議ほか3名の市議が参加

日隈市議ほか3名の日田市議は1月31日、アクロス福岡で行われた「基礎から学ぶ質問力」研修に参加しました。

残念な質問、もったいない質問をいい質問に変える、一般質問を政策資源にするなどの提案が、講師の土山教授から話されました。



▲参加した議員の疑問や悩みに答える
龍谷大学・土山希美枝教授 (1月31日)